

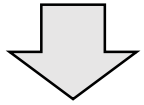
ラーケーションとは

これからの社会では、自己の在り方や生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことのできる力が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験的・探究的な活動を通して学んでいくことが有効です。また、自己の在り方や生き方を考えるためには、家の人とゆっくりと話をする時間も大切です。思いや悩み、不安について家族と一緒に考えることで、これまでの生活を振り返り、今後を見つめる良い機会になります。

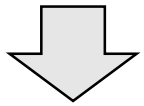
児童生徒が家の人などと一緒に、そのような時間を取ることができるよう、小美玉市が設定したのが年間最大5日間の「ラーケーション」です。

ラーケーション届出の流れ

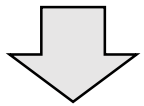
1 計 画



2 届 出



3 活 動



4 振り返り

家族で相談して計画を立てる。

①日程 ②場所 ③内容 など

ラーケーション届出書（別紙1）を1週間前までに
学校に提出する。

体験活動などを行う。

家の人と話し合い、体験活動などの振り返りを行
う。

ご注意いただきたいこと

- 受けられなかった授業内容に関するサポートについては、いばらきオンラインスタディ等を活用して各家庭で対応してください。
- 各学校がラーケーションを取得できない日又は期間を設定していますのでご確認ください。

（例）4月中（年度はじめ）、定期テスト期間、学校行事の日等

- ラーケーションは、連続して取得することも分散して取得することもできます。限度は年度内に5日であり、残った日を次の年度に繰り越すことはできません。
- 取得した日は欠席ではなく、「出席停止・忌引等」の扱いになります。
- ラーケーション中にケガなどをした場合、学校の管理下での活動ではないため、学校で加入している日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度の対象外となります。実施前に家庭で個別に保険に加入することをおすすめします。
- ラーケーションを利用した日の給食の扱いは、病気等の欠席者と同様の対応とし、給食費などの返金はありません。

活動例

平日ならではの！ 水族館や博物館に行こう

興味のある施設に行き、時間をかけてじっくりと見学や体験をしてみましょう。

平日は、様々な施設が休日比べて混雑していません。



気分は研究者！ レポートを書いてみよう

興味のあることや疑問をもったことについて調べ、レポートを書いてみましょう。

書いたレポートをコンテストに応募してみるのもよいでしょう。



学校体験！ 普段の様子を見に行こう

普段の大学や専門学校の様子を見てみましょう。

大学図書館や、周辺の街の雰囲気味わうのもよいでしょう。



将来について！ お家の人に話してみよう

将来についての思いや悩みなどをじっくりとお家の人と話し合ってみましょう。

お家の人と休みを合わせてみるとよいでしょう。



ラーケーション届出書

※ラーケーション取得日の1週間前までに提出してください。

1 ラーケーションの内容

年5日以内に限り、保護者の届出によって、児童生徒が登校しなくても欠席とならない日を設定する。次年度に繰り越すことはできない。

2 ラーケーションを取ることができない日

- 式典・・・入学式、始業式、終業式、修了式、卒業式
- 学校行事及び学年行事等・・・修学旅行、遠足、運動会、体育祭等
- 定期テスト日・・・定期考査（中間テスト、期末テスト、学年末テスト）、全国学力学習状況調査、県学力診断のためのテスト等
- その他・・・各学校で定めた日

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 切り取り線・・・・・・・・・・・・・・・・

<ラーケーションで学ぶ日の届出>

ラーケーションの日の意義を理解し、子どもとともに学校外での体験的、探究的な学びを深めたいので、以下の日程でラーケーションの取得を届出します。

※ 取得する前の確認事項（確認後口に✓を記入してください。）

- ☐ 上記の「ラーケーションの日」の意義について理解しました。
- ☐ 学校が示す「ラーケーションを取ることができない日」を確認しました。
- ☐ 「ラーケーションの日」を取ることで受けられない授業の内容は、主に家庭学習等で補います。

令和____年____月____日____曜日 ～ 令和____年____月____日____曜日

____日間（通算____日）

____年____組____番児童生徒名_____

保護者氏名_____

活動場所	活動内容